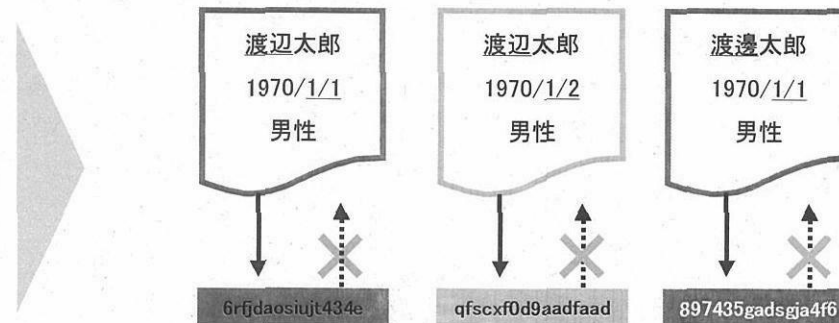


レセプト情報、特定健診・特定保健指導情報について  
同一人物の情報を追跡出来るようにするための対応方法(案)

---

# 1. ハッシュ関数について

- ①与えられたデータから固定長の疑似乱数(ハッシュ値)を生成する
- ②異なるデータからは原則として異なるハッシュ値が生成される
- ③生成されたハッシュ値からは元データを再現することは出来ない



個人情報(被保険者証記号番号、氏名等)をインプットにしてハッシュ値を生成し、その値で突合することで、個人情報を削除したレセプト情報等について「同一人物の情報」として特定することが可能

<イメージ>

